

C 協働学習 (C1)

主な学習活動

水に溶けて見えなくなった食塩の行方について予想し、調べる方法を考える。

1 本時のねらい

食塩の溶ける様子や食塩水の様子を観察する活動を通して、水に溶けて見えなくなった食塩の行方について、自らの予想を元に友だちの実験方法も参考にしながら解決の方法を決めることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

ムーブノート

3 参考にしてほしいポイント

児童一人一人が考えた実験方法をムーブノートを活用して発表し説明した後、電子黒板上で仲間分けをする。実験方法が思い浮かばない児童は、友達の発表を参考にして決めることができる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	<ul style="list-style-type: none"> 実験方法をタブレットにまとめ発表する。 仲間分けする。 実験方法が思い浮かばなかった児童は、『仲間分け』から実験方法を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ムーブノートを活用して、実験方法を絵や文章でまとめたものを発表する。 ムーブノートの機能で実験方法の仲間分けをする。 電子黒板の発表を参考にして、自分が良いと思う実験方法を決める。

タブレット

+

電子黒板



よ～し、これならみんな分かってくれる。きっと！



実験方法を仲間分けしてみよう。



4 活用効果

児童一人一人が、タブレットを活用し自分の考えを表現し、電子黒板上に一人一人の考えを提示することができた。考えを仲間分けしたものを電子黒板上で明示することにより、自分の考えを持てなかった児童にも参考になり、次時への関心・意欲を持ったり、実験方法を選ぶことができた。